

地域のリサイクル情報誌

『ヴェーナス通信』



商標登録第 4882482 号

Venous (静脈) Venus (護美の女神)

第82号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生
東京都東村山市久米川町 1 - 16 - 18
TEL : 042 - 395 - 9788
FAX : 042 - 395 - 9787



『非常事態宣言から2年、回収業者の今』

古紙相場の暴落に伴い、東京都資源回収事業協同組合が集団回収事業非常事態宣言を採択したのが2020年1月。採算が取れずに廃業したり、この地域から撤退していった業者の受け皿として、組合では集団回収という地域に根差したリサイクルシステムを守るため、組合員が赤字覚悟で回収事業の維持継続に努めてきた。最近では、国内製紙メーカーによる段ボール原紙輸出が順調であること、原紙の値上げ発表がなされたこと、古紙に関してはコロナ禍による世界的な資源不足で輸出価格が高騰しているなど、相場が回復しているような報道がなされているが、回収業界の実情はどうなっているのだろうか。

◎まずは古紙価格であるが、非常事態宣言時に新聞 7.0～8.0 円、雑誌 4.0 円、段ボール 5.0～6.0 円だった日経古紙相場は、2020年4月に新聞 6.0 円、雑誌 2.0～3.0 円、段ボール 4.0～5.0 円という底値を記録した後、若干回復し、令和4年4月現在、新聞 6.0 円、雑誌 2.0～3.0 円、段ボール 5.0～7.0 円となっている。非常事態宣言以前に値を戻したのは、実は段ボールだけだ。

◎次に、回収量を見てみよう。我々回収業者の売り上げは、回収量(kg)×単価(円/kg)ではじき出されるため、回収量を確保しなければ相場が回復しても売り上げは増えない。当組合管内で

の集団回収量を比較すると、コロナで回収を中断していた団体もあったが、2019年度 6,991 トンだったものが、2020年度には 6,538 トン、2021年度には 5,816 トンにまで減少した。掛け算なので、もし単価が 1～2 円戻っても、回収量が 1 割以上も減ったら売り上げは相殺されてしまう。

◎また、回収に係る経費の増大も見逃せない。ご存じの通り、世界的なコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻などの影響で、原油価格が高騰している。2年前 112.7 円/ℓ だった軽油価格は、3月末の時点で 156.9 円/ℓ と実に 35 円もの値上げとなっている。年間 23,000ℓ の軽油を消費する当社では、約 100 万円の燃料費増加で、ランニングコストを跳ね上げている。その他、車両代、人件費、消耗品費など諸々の値上げラッシュがコストを押し上げているだけでなく、感染症対策に係る経費負担増も重なっている。

◎結論的に回収業者の実情は、世界的な資源不足、インフレ傾向により、非常事態宣言第2弾が発令されてもおかしくない状況であるものの、古紙が足りない状況から、コスト増、発生減の中何とか踏ん張っているといったところである。

◎地域のリサイクルシステムを維持していくため、集団回収団体の皆様、市民・行政の皆様には、今般の回収業界の状況をご理解頂くようお願い申し上げます。(TKO)

●ヴェーナス通信82号 目次●

- P 1…『非常事態宣言から2年、回収業者の今』
- P 2…直言拝聴『食品廃棄を考える』帝京大学教授 渡辺 浩平様
- P 4…東京資源界報オリンピック・パラリンピック特集号より
- P 6…リサイクル掲示板『雑がみをリサイクルしやすく、もっと簡単に出そう』
- P 8…市議団との意見交換会、古参の従業員の退職、古紙ネットが要望書を提出
- P 9…容環協紙パックリサイクル意見交換会、TAMA とことん討論会
- P10…東資協青年部セミナー、東多摩再資協青年部総会
- P11…各市イベント、東資協青年部総会、環境加地ラーに登録、古紙セパ-のセパ-、代表者交代
- P12…ISO 返上について、行事と行動、編集後記

読者の皆様も日常生活や報道などでお気づきかと思いますが、現代社会では本来人間が喫食するはずだった食料が、しばしば食べられずに廃棄されてしまっています。

はじめに

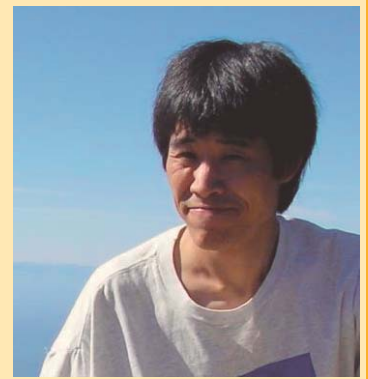
直言拝聴

『食品廃棄を考える』

帝京大学 文学部社会学科 教授

小平市廃棄物減量等推進審議会 副会長

渡辺 浩平



食品廃棄の環境への影響

世界全体での食品廃棄の量を推

食品廃棄は捨てた人の財布が痛むだけだし、企業は廃棄のコストを織込済みで経営しているのだから、自分の問題ではないととらえている方もいらつしやると思います。また「本来資源として有効利用されるはずの古紙や古布が焼却処理されてしまっているのと同じ」と考えられるかもしれません。しかし食品はまず人間の生存に不可欠な資源であり、時間経過による品質劣化を防ぐために大きなコストがかかる、堆肥化や熱回収といったリサイクルでは元の価値のわずかし回収できず、効果的な対策としては食品廃棄の発生抑制しかない、といった他の資源廃棄にはない特質もあり、特出しして取り組んでいく意義があるものだと考えます。

筆者は大学で学部生のころから「ごみと3R」の研究をしてきており、過去には古紙リサイクルにおける材質フローの分析などを行っており、近年食品廃棄、特に家庭由来のものに関する研究に力を入れており、本稿ではそれを通じて見えてきたことなどを紹介します。

計するのはなかなか困難なことなのですが、人間が食べるために生産された食料の三分の一が目的を果たせずに捨てられてしまっている試算されています。このような大量に食品を捨てることは、環境や社会にどのような影響があるのでしょうか。それはまず廃棄物処理システムに対する大きな負荷となります。世界多くの地域で都市ごみは直接埋立処理をされており、埋立地内で食品廃棄物がうまく分解せずメタンガスの大きな排出源となっています。メタンは二酸化炭素に比べ体積あたり二十倍以上の温室効果があり、気候変動に大きく加担します。日本のように焼却処理が行われているところでは、食品廃棄物は水分含有量が多く燃えにくいいため、焼却熱によるごみ発電等の熱利用の効率を下げてしまっています。

多くの割合を占め、全世界での食品廃棄の寄与はGHG総排出量のおよそ八〜一〇%になると推定されています。また食品廃棄を半減できれば、必要とする農耕地も約十四%削減し、GHG排出量を約二二%も削減できるという推計もあります。

食品廃棄の社会的影響

環境への影響ならんで、社会的な影響も大きいです。何よりも世界では栄養確保に苦しんでいる人々がいる一方で食品廃棄が発生していること自体が、現在の食料システムが歪んでおり、非効率で不公平であることを示していると思います。ただし飢餓や栄養不良の原因は複雑で、食品廃棄の存在や食料の入手可能性の問題だけに還元することはできず、あまりに単純化し過ぎないように注意が必要と指摘もされています。食品廃棄が食料安全保障に与える影響について主に以下の三つがあげられます。①世界的にも地域的にも食料の入手可能性が低下すること、②消費者にとっては食品価格の上昇により、供給者にとっては経済的損失により、食料へのアクセスに悪影響が生じること、③将来の食料生産に必要な天然資源の持続不

可能な利用により長期的な影響が生じること。そうしたことから、先進国での食品廃棄の半減が途上国の栄養不良人口を六三〇〇万人（全体の七・四％）減少させるという推計が提示されています。

食品廃棄に関する取組

こうしたなか日本では二〇一九年一〇月「食品ロスの削減の推進に関する法律」（以下、食品ロス削減法）が施行されました。すでに「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」（以下、食品リサイクル法。二〇〇〇年施行）がありますが、この法律に基づく施策は基本的には事業系食品廃棄物のリサイクルの促進策です。それに対して食品ロス削減法は、政府に基本方針の策定義務を、自治体に食品ロス削減推進計画策定の努力義務を課し、主に家庭由来の食品廃棄の削減を推進することを目的とするものです。

二〇二〇年三月に閣議決定された基本方針には消費者・事業者に求められる行動例などが示されているのに加え、自治体の食品ロス削減推進計画の留意事項として、一般廃棄物の組成調査を行い、現状を把握した上で計画を策定すること、目標値を設定することが推

奨されています。

一方で国連はSDGs（持続可能な開発目標）として、十七のゴールと一六九のターゲットを策定しており、そのなかでターゲット12.3は「二〇三〇年までに小売・消費段階の一人あたりの Food waste を半減させ、生産・サプライチェーンの Food Loss を減少させる」としています。

食品廃棄をめぐる

用語をめぐる

ところで、上述では削減の取組の対象として「食品廃棄物」「食品ロス」「Food waste」「Food Loss」といったことばが出てきますが、これらは正確には何を指すのでしょうか？日本では「食品ロス」と「Food Loss」が混同されて使用されている例をよく見ますが、実は全く違う概念なのです。用語の誤用は誤解につながり、国際的に経験を共有して取組を進めていくうえでも障害になりますので、注意が必要です。

図に各々の用語が何を指すか示します。まず日本では食品由来の廃棄物全体を「食品廃棄物」としています。食品廃棄物は皮や芯など食材のう

ち食べない部分として意図的に除去された部分が廃棄されたものと、本来食べる部分が売れ残り、使い残しや食べ残しといったかたちで廃棄されたものからなります。後者が「食品ロス」に該当します。ただし意図的に除去した部分の中には、ニンジンの皮や厚剥きされたリンゴの皮に付いているか肉部分など調理法によっては食べようと思えば食べられる部分も存在し、家庭から発生するそのような部分は「過剰除去」として食品ロスに含まれるとされています。食品加工や外食など事業所から発生するそのような部分は食品ロスには含まれません。それが図での「食品ロス」の右下の出っ張りにあたります。

一方で国際的には上述のSDG12.3 指標の定義に見られるように、発生段階によって区分をしています。製造加工から流通までに発生する部分が Food Loss、小

	日本		国連環境計画 (UNEP)	
	可食部	除去部	可食部	除去部
漁場・農場	日本でもUNEPでも、この段階のものは食品廃棄として計上されていない			
加工・流通	食品ロス		Food Loss	
小売			Food Waste	
外食	過剰除去			
家庭				

売・外食・家庭から発生するものが Food waste にあたるといのが一般的な解釈です。SDG12.3 での削減対象とされる Food waste の定義については、多くの議論がありました。主な争点は意図的に除去された部分を含む

のかどうかと、「行き先」を問題にするか（飼料やバイオマス素材として回収・リサイクル利用されたものを廃棄とみなすか、みなさないか）の二点です。EUはサーキュラーエコノミー（循環経済）政策を進めています。ここでは循環利用を増やすことに注力されがちで、その影響もあり除去部の飼料化や素材へのリサイクルを推進したいということで、除去部をFood wasteに含み、リサイクルされたら削減されたことにする、という定義を採用することになりました。

しかし著者らが、現状で最も重要なのは可食部廃棄の発生抑制であると主張した結果、可食部と除去部に分けて把握することが望ましい、リサイクルされたということで除外されたものの量も報告することが望ましい、と付け加えられました。日本での食品ロス削減により準拠する形になり、日本としては取り組みやすくなったと思います。

今後の取組に向けて

筆者らの研究グループは、こうした定義に基づいて家庭からの食品廃棄の実態把握の具体的な方法を開発し、調査の実績を積み上げ

ていますが、調査活動から、日本での生活の多様性に改めて気がつかされました。スーパーマーケットで大半の食品を入手するという生活様式は日本全国津々浦々似ているのですが、具体的に何を食べ、どういふときに捨てるかは千差万別で、誰でも適用できる効果的な食品廃棄削減のための行動を

提案するのは、大きな挑戦だと感じました。そういった中、有望な取組を抽出し、その効果をしっかりと測定・評価して提案に結び付けたいと研究を進めています。研究と社会実装の両面を通じて、食品廃棄削減において、日本が世界をリードしていけるよう頑張りたいと思っています。

東資協広報誌『東京資源界報 TOKYO2020オリンピック・パラリンピック特集号』より、当組合からの参加者の感想

○奥山商店(株) 大久保 一

オリンピック・パラリンピック競技大会が日本で開催されたことに喜びを感じ、その運営に携われたことを光栄に思います。華やかな表舞台の裏で、大勢の人々が大会を支えていることを知り、よりオリ・パラのすばらしさを学びました。

また、業務をする上で、組合の連携の良さを実感し、改めて組合員であることに誇りを持ってました。今後もこのメンバーで様々なプロ



ジェクトに挑戦していったらと思います。本当にありがとうございます。

○(株)久米川紙業 吉浦 慎太郎

今回のオリンピック、パラリンピックの古紙の回収ですが、青年部でもお世話になっているうちの常務(現社長)が勝手に参加を決めて、私だけアクレディテーションカードに登録したため、半強制的に参加することになりました。事前の説明会で話を聞いているうちに、これ一人じゃきつくない?と感じるようになり、三栄サービス(紺野さん)にお願いして道案内と回収のお手伝いをして頂き、オリンピックスタジアム、選手村の回収に行きました。パラリンピック

も閉幕し、入場のセキュリティチェックがなくなった後は、登録できなかった社員の吉川君とも回収に行きました。彼も普段は入ることのできないオリンピックスタジアムの裏方を覗くことが出来て、とても喜んでいました。

正直、日中の仕事を終えてから夜の十一時に出発するという強行軍で、段ボールも選別や運び出しが大変で、感想としては、『ホント大変でした!』の一言です。ただ、生きているうちに二度とないイレギュラーな仕事に、自分自身おかしなテンションで盛り上がってきて、思い返せばそれ以上に楽しかったしとても貴重な経験をしたと思います。鰐淵さん始め、東資協の役員の皆様、ありがとうございます。



○(株)ケイシン 水野 敬一

早朝二時五十分。家族が起きてしまわないように、携帯電話のタイマーより少しだけ早く目を覚まし、家を出る。暗闇の中車両点検

を行い、指定された装備を確認し会社を後にする。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、都心に出ることは久しぶり。意外に道を覚えているものだな、そんな風に考えながら運転していると、

早朝ということもあって、あつという間に新国立競技場(以下、競技場)に到着。本来ならば、入場口となるはずだった外苑通り沿いの場所は封鎖されており、叶わなかった本来のオリパラの姿を夢想して少しだけ残念な気持ちになる。競技場に入場する際、二重のゲートをくぐると、自衛隊員に、持ち物と車両検査をされ入場が許可された。競技場の客席の下は車両が通れる通路となっている。壁やホワイトボードに絵や壁には、選手やスタッフが書いたであろうと思われる、様々な言語で書かれたメッセージを見つけた。半周したあたり、資源物が集積されている場所があった。元体操選手だった我が社の回収作業員は、この段階でオリパラの雰囲気にあてられ興奮を隠せなくなっていた。コンビニで買ってあげたオリパラのTシャツに颯爽と着替え、こんなに楽しそうに段ボールをパッカー車に巻く人見たことありますか?と聞きたくなるほど嬉しそうに仕事をして

いる姿が見られただけで、この事業に参加させていただけたことに感謝しなければいけないと思っただ。三ヶ所の集積所で、パッカー車がうなりを上げるほど段ボールを回収し業務完了。

資源物の回収の仕事は何で必要?エコだから、環境負荷軽減のため、ごみ減量ため、たくさんの方の意義を見聞きし、私も公の場で口にしてきた。しかし、今回の業務をさせていただくまで、本当の意味で理解も実感も無かったと痛感した。TOKYO2020オリンピック・パラリンピックでは、「Better Together/より良い未来へ、ともに進もう」という、持続可能性を意識したコンセプトが設けられている。我々が目指す持続可能な資源循環型社会形成にマッチしていた大会だった。世界中の選手のために働けたことで、世界の人々の顔が見えるようになり、環境負荷軽減に役立っているという、誇りにも似た感情が芽生え、自身の仕事に改めて自信を持つことができた。参加した社員も同じ気持ちになったと言ってもらえたことは、会社の財産になった。同じ言葉でも、もう重みが違う。今まで以上に強くはつきり胸を張って言える、「私は再生資源のリサイ

クルを通じて、地球に貢献する仕事をしています!」



〇(株)三栄サービス 紺野 琢生

まずもって、この度は、TOKYO2020オリンピック・パラリンピック競技大会での資源物回収事業に参加された皆様、本当にお疲れさまでした。また、松本理事長、鰐淵副理事長始め、東資協の皆様におかれましては、このような素晴らしい機会を与えて頂き、社員一同心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

回収時間がどうしても夜間、早朝になってしまうため、全従業員に参加させることは出来ませんでした。参加したそれぞれが思うところが、このオリパラに対して特別な思いを抱くに至ったと思います。それ以外の社員、また地元との組合の関係者にとっても、世界的な一大イベントの裏方を支える業務に会社として、地元組合(当社を含め五社が参加)として参加したということが誇りであり、働き甲斐につながったのではないかと考えています。

この事業をレガシーに、東資協と組合員の皆様が進みます。発展していけるよう、東資協の理事として、また、一組合員(会社)としても、尽力してまいりたいと考えております。



当組合からは、この四社の他、株式会社藤本チェーンから一名参加して頂きました。七月の開会式直前から、パラリンピック終了後の九月末日まで、オリンピックスタジアム、選手村の回収に五社一三名が連日連夜交代で参加しました。皆様本当にお疲れさまでした。東資協広報誌 東京資源界報 『TOKYO2020オリンピック・パラリンピック特集号』は、Webで閲覧出来ます

特集号は、東資協ホームページからも閲覧出来ます。下記のQRコードを読み取り、是非ご覧頂くようお願いいたします。



リサイクル掲示板

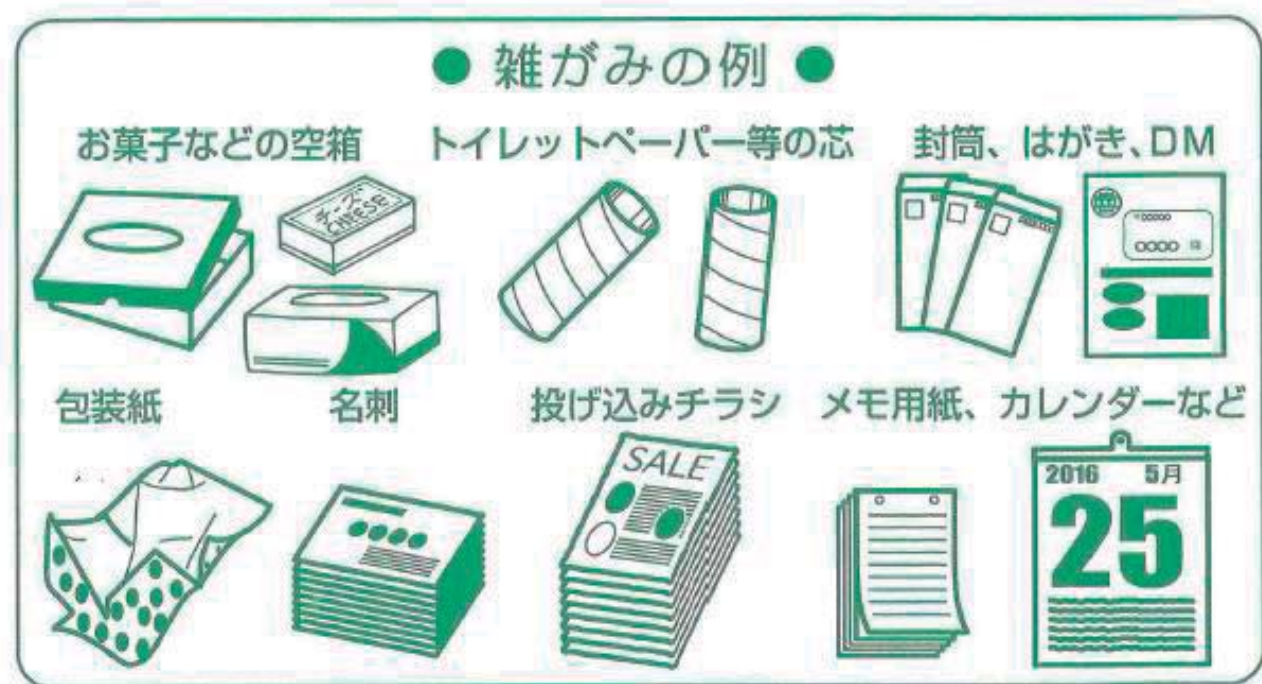
雑がみをリサイクルしやすく、もっと簡単に出そう

日頃は、資源の分別排出にご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。本誌では、過去にも何度か雑がみのリサイクルの推進、雑がみ回収袋の作り方などを取り上げてまいりました。先日、市議の先生方と雑がみ回収に関する意見交換をさせて頂いた際に、紙袋がなくて出し方に困っている市民がいるという話を伺いました。回収の現場では、紙袋に入れて出して頂いている市民の皆様が大多数である反面、段ボールにいろいろな紙を入れたり差し込んだりして出されている方もまだまだいらっしゃいます。

そこで、繰り返しになり恐縮ですが、改めて雑がみの出し方についてお話しさせて頂くとともに、紙袋がなくても出せる、リサイクルしやすい出し方についてもご案内したいと思います。

①おさらいですが、「雑がみ」とは？

雑がみとは、新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック以外のリサイクルできる紙・板紙のことです。具体的には、お菓子やおもちゃの紙箱、投函されたチラシ類、包装紙、紙袋、封筒、ハガキ、ダイレクトメール、学校などから配布される印刷物、ノート、コピー用紙、メモ用紙、紙製ファイル、名刺、カレンダー、トイレットペーパーの芯などがあります。



なお、雑がみ回収では、特にリサイクルできない紙類と異物の混入が多いので、注意が必要です。リサイクル出来ない紙類(禁忌品)には、感熱紙、カーボン紙、ノンカーボン紙、金紙・銀紙、写真や印画紙、昇華転写紙、感熱発泡紙、臭いや汚れのついた紙、ラミネート紙、ストーンペーパー、紙以外のものとの複合物などがあります。ここでは詳しく触れませんが、詳しく知りたい方は、公益財団法人古紙再生促進センターのホームページをご覧ください。

また、組合では禁忌品のサンプルをお持ちして分別講習会なども行っておりますので、お気軽にご相談ください。

(右の QR コードから、公益財団法人古紙再生促進センターの禁忌品関連の資料を集めたページを閲覧できます。)



②雑がみはどのようにリサイクルされている？

雑がみは、雑誌と一緒に回収され、選別加工しリサイクルされます。再生用途は、白板紙といってお菓子やおもちゃなどの箱の紙にリサイクルされたり、段ボール原紙の中でも中芯と言って段ボールの波状の部分の紙にリサイクルされたりします。

段ボール箱に段ボールや雑がみを差し込んで資源回収に出される方がいらっしゃいますが、雑誌と段ボールは別々に回収するため、回収の現場で段ボールと雑がみを分けなくてはならず、円滑にリサイクルが出来ません。また、ビニール袋に入れて出してもいいですかという相談を受けることもあります。ビニール袋は破袋して廃プラとして処理しなくてはならないのと、紙以外の不純物が混入しやすい傾向があるので、ビニール袋に入れて出すのはなるべくご遠慮頂いています。雑がみは、③～④の通り、出して頂くようお願いします。



③「雑がみ」はどのようにして出せばよい？

雑がみの基本的な出し方としては、紙袋に入れるか、雑誌などに挟んで出して下さいとお願いしています。この際の紙袋は、組合が啓もう活動のためにイベント等で配布している、いわゆる雑がみ回収袋でなくても構いません。



組合が配布している雑がみ回収袋



紙袋に入れる



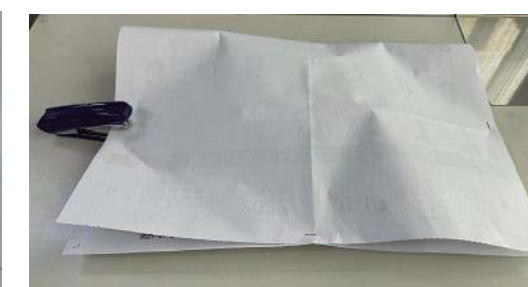
雑誌などに挟む

④もっと簡単に出す方法とは？

紙袋がない、挟む雑誌がないという声があります。雑がみを出すには、風等で飛び散らないようにして頂ければ OK です。封筒などに入れる、ティッシュやお菓子などの紙箱に入れる、カレンダーや包装紙などの大き目の紙で包んでホッチキスで3辺を綴じるなど、簡単にまとめて出して頂ければ大丈夫です。その他、いろいろ工夫して出している方がいらっしゃいましたら、是非組合までアイデアをお寄せ下さい。本誌でご紹介させていただきます。嵩張る、分けるのが面倒くさい、そんな雑がみですが、地球の緑を守る貴重な資源です。大切にリサイクルしましょう！



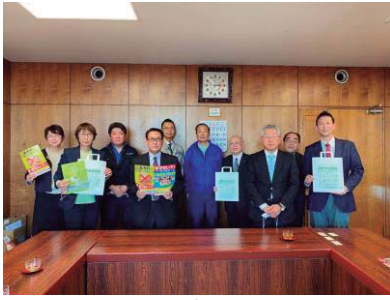
封筒などに入れる



カレンダーのような大き目の紙で包んでホッチキスで3点止めする



ティッシュの箱など紙箱に入れる



市議団の皆様と（※写真撮影時のみマスクを外しています。）

多摩地域のごみの組成分析調査を見ると、東村山市が近隣他市に比べて可燃ごみへの古紙の混入が多いのではないかと、話がきっかけでした。組成分析調査の問題点については、本誌八一号の当組合紺野顧問による寄稿記事通りご説明させて頂きました。ただ、未だ古紙が可燃ごみに多く混入していることは間違いないので、古紙のリサイクルから分別、禁忌品に至る

雑がみに関する意見交換を実施
去る二月七日（月）、東村山市議会の公明党議員団の皆様にお声がけ頂き、雑がみに関する意見交換会を行いました。公明党から石橋光明代表を始め六名の市議の皆様、組合からは、吉浦理事長、福田業務委員長、水野集団回収委員長と私が参加しました。

明をさせて頂いた後、雑がみ類の出し方について実演を交えてお話しさせて頂きました。（※雑がみの出し方については、本誌リサイクル掲示板を参照）

その後の意見交換では、古紙の分別の難しさ（禁忌品の多さ、紙の識別マークの矛盾点など）、段ボールや雑がみ等嵩張る古紙類が増えていること、雑がみを手間が増えていること、雑がみを増やす啓もう活動を行っていくためには雑がみ回収袋が有効ではあるが、膨大なコストが掛かるため、継続的に出して頂くためにはもっと簡単に出せる工夫をする方がよいことなど、様々なお話が飛び交いました。熱心にお話を聞いて頂いた市議団の皆様は改めて感謝申し上げます。小平市の旧リサイクルセンター開設以前からの従業員である

澤村貞子さんが退職

去る二月末日をもって、小平市リサイクルセンター主任の澤村貞子さんが退職されました。

澤村さんは、平成五年十月に中島町でリサイクル業務がスタートした時から作業に従事し、平成六年二月に開設された旧センターを閉所まで見送り、平成三十一年に現在のセンターに移って約三年に亘

って主任として選別作業員の取りまとめ役を担って頂きました。

最終日に、組合事務局で開催されていた業務・集団回収委員会の席にお越し頂き、吉浦理事

長より花束を贈呈しました。澤村さん、長い間有難うございました。



●古紙ネットに要望書を提出●
製紙原料としてリサイクル出来ないストーンペーパー（LIME X）の紙製品への使用拡大の問題

古紙暴落によるリサイクルの行き詰まりを前向きに解決しようとしてリサイクル団体、ごみを考えるグループが集まって一九九三年四月に「どうする古紙暴落緊急市民集会」を開き、結成された古紙問題市民行動ネットワークは、二〇一二年に解散したが、その後もメーリングリストを利用してリサイクルを始めとする環境問題について意見交換を続けている。その中で、最近何かと話題に上がるのが石灰石を利用して作られた新素材LIME X。これを基に本誌八十号一面でも、この問題について取り上げさせて頂いたことがある。この度、日本能率協会がノート

の表紙にLIME Xを採用するというプレスリリースがあり、これに対して古紙ネットとして同社に要望書を提出した。

『ノートは使用后、リサイクルするため古紙回収に出すのが一般的ですが、LIME Xは石灰石とプラスチックの複合品であるストーンペーパーの一種で、古紙リサイクルの「禁忌品」にあたること。消費者は紙でないことに気づかぬまま古紙回収に出してしまう可能性があります。循環型社会の流れを止めないためにも、家庭で使われる紙類に、紙と一緒にリサイクルできないLIME Xのようなストーンペーパーを使用しないで欲しい。もし、どうしても使用する場合は、LIME X使用部分にリサイクルできないため古紙に混入させない旨の注意書きを明記して頂きたい。（要望書抜粋）』
同社からの回答は、LIME Xが環境にやさしい素材であると礼賛しつつ、紹介サイトに注意書きを掲載するというものだった。
ストーンペーパーが紙に混じって使用が拡大した場合、必ず古紙リサイクルシステムの大きな障害要因となる。古紙リサイクルの現場からも声を上げなければ、この流れは止まらない。（TKO）

第三四回飲料用紙パックリサイクル推進意見交換会に参加

去る三月一日(火)にオンラインにて開催された同意見交換会に福田業務委員長と私が参加した。

この意見交換会は、全国牛乳容器環境協議会(容環協)が主催し、農林水産省、経済産業省、環境省の担当部署、東京都を始め全国各地の自治体担当者、全国牛乳パックの再利用を考える連絡会を始めとする市民団体、紙パックを使用する飲料メーカー、製紙メーカー、古紙問屋、印刷会社など様々な団体を交えて毎年開催されている。

まず初めに容環協の担当者から紙パックリサイクルの取り組み状況について報告があり、続いて㈱ダイナックス都市環境研究所主任研究員である有間俊彦氏から飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査報告が行われた。



意見交換会の様子。容環協のスタッフ以外は全員リモート参加となっている。



紙パックの回収率は落ち込んでいる。学乳パックの落ち込みが特に大きい。

二〇二〇年度の紙パック回収率は三八・八%と前年比二・六ポイント落ち込んでいる。二〇一六年度の四四・三%から四年連続の減少となっている。伸び悩む家庭からの回収率と、学校給食用牛乳パックの乳業メーカー引き取りから学校独自処理への移行による回収減が影響しているものと考えられる。その後に行われた意見交換会は、Zoomのアンケート機能を利用した意見集約がメインとなったが、市民団体からは、市民意識の低下のせいにしていないでもっと協議会が責任をもって回収増に取り組みべきといった厳しい意見も挙げられた。

牛乳パック回収については、単独での回収を行っている自治体は全国的にはまだ少なく、拠点回収のみ行っているところや、行政回収で回収しているところも雑がみと一緒

に回収してしまっているケースが多い。また、集団回収の回収品目になっていない自治体も多い。自治体がごみ・資源の分別において牛乳パックを古紙三品目とは別に分別するように広報する、行政回収で牛乳パックを品目として追加して分別回収する、集団回収の品目に牛乳パックを追加するなど、自治体の協力の元に進めていくべきである。また、アルミ缶リサイクル協会が実施しているような、学校、自治会への表彰制度もリサイクル意識の向上には有効かもしれない。

牛乳パックは、洗って、開いて、乾かして、牛乳パックだけで束ねて出すというのを改めて周知したい。なお、最近増えているプラキヤップ付きの牛乳パックも、キヤップだけ外せば注ぎ口はついたままでもリサイクル出来ると表記されているものも多いので、追記しておきたい。(TKO)



牛乳パックの裏面に書かれている出し方の注意をご覧ください。

第二九回TAMAとこころ

討論会に参加

去る三月五日(土)、聖蹟桜ヶ丘のアウラホール及びYouTub配信にてTAMAとこころ討論会が開催されました。この討論会は、NPO法人東京・多摩リサイクル市民連邦及び公益財団法人東京市町村自治調査会が組織する実行委員会が主催し、(公社)東京都リサイクル事業協会他が後援して毎年開催されているものです。組合からは、吉浦理事長、紺野専務理事と私が事務局からYouTube配信を視聴しました。

二九回目となる今回は、『買い物から考える「ごみ問題」』をテーマに、四名の講師による講演とデイスカッションという構成で開催されました。

まず初めに、実行委員長である小石恵子氏から開会の挨拶と作文優秀賞の発表がありました。その後、考察として作文及び調査結果に関する報告を事務局長の江尻京子氏が行いました。

基調講演では、グリーン購入ネットワーク事務局長の深津学治氏から『グリーン購入とごみ減量』についての講演があり、続いて『エ



(小畑)

コシヨップ認定制度について(多摩市環境部ごみ対策課長 薄井誠嗣氏)、『素材と対話するモノづく(ヨシタ手工業デザイン室吉田守孝氏)』『食の作り手からのメッセージ』(とうふや「おもむる」伊藤正樹氏)のリレー講演がありました。最後にまとめとディスカッションを株式会社ダイナックス都市環境研究所の山本耕平会長が行いました。

普段、リサイクルを業としていながら、再生紙トレットペーパー以外のグリーン購入について、あまり議論することがなかった中で、様々な視点からのお話は、大変勉強になりました。Youtubeでの配信は少し聞き取りづらい点もありましたが、事務所でのリラックスしながら参加することが出来、良かったと思います。

東資協青年部セミナーに参加

三月二四日、東資協青年部主催のセミナーが開催された。今回は、中国の禁輸措置、コロナ禍、ロシア・ウクライナ危機、脱炭素、脱プラ・減プラスチック、SDGs等、世界の流れに翻弄される時代となっている今、業界の情報をいち早く手に入れ、発信している(有)古紙ジャーナル社より、取締役・編集長本願雅史氏を講師にお迎えして「コロナ禍での古紙業界の変化とアフターコロナの業界展望」をテーマに、現状の正確な把握、時代の先読みを試みてみることにした。

二〇二一年初頭から中国が全面的に古紙を輸入禁止したため、世界中で古紙が余るとの予想は一転し、海外古紙市況は急騰し、高止まりとなった。コロナ禍で断続的なロックダウンによる発生減、海上輸送の停滞によって需給のミスマッチが発生。先進国の需要回復も影響。ポイント是中国の段原紙需要と米国の古紙供給能力。これが起点となり国際的な古紙市況が形成されているようだ。中国では、一〇〇〇万ト以上のパルプ工場建設が予定されている。チップ輸入量も急増中で、今年針葉樹チップは三倍の伸びで一〇〇万BD



トンに達する見込みである。木材パルプの設備増強、非木材パルプ(竹パルプ・藁パルプなど)の増産によっても繊維原料の確保に動いているらしい。東南ア

ジア諸国に中華系メーカーが進出し、段原紙・古紙パルプ工場を建設。中国向け古紙の受け皿に。中国に追従して輸入規制も強化される流れになっている。ベトナム・マレーシア・韓国でMIX古紙は禁止されるようだ。

まとめとして、今後も世界の古紙需要は伸びていくと思われる。ただし、起点となる中国の原紙需要は弱含み。欧米における国内需要増で古紙の供給余力は乏しい中で、日本の古紙のニーズは強いが、海上物流網の停滞がボトルネックにもなりうる。ロシア・ウクライナ危機で原燃料需給はより混乱が深まる。国内では二回目の段ボール原紙・製品値上げの可能性も取りざたされている。その場合、古紙の基準価格修正も起こりえる。

オイルショック時のような暴騰も想定される。古紙の内外価格差が残り、発生も減る。回収業者・問屋にとって、輸出市況の高騰時に国内価格を突き上げて利ザヤを稼ぐ商売が通用しなくなった。今までのような仕組みづくり、共感できるストーリーで「SDGs時代」の古紙ビジネスを再構築しなければ、生き残れないであろうと締めくくった。

(水野K)

東多摩再資協青年部 第二十回通常総会開催

四月二五日、組合青年部第二十回通常総会が開催されました。本来ならば二十周年なので式典を開きたかったのですが、コロナ禍であることを踏まえ自粛することと致しました。前年度事業報告・決算報告、今年度事業計画・予算案、すべての議案は無事成立致しました。今期は、役員改選期となり、満場一致で前期に引き続き、私が青年部長を続投する形となりました。来賓挨拶では、吉浦理事長から、「事業計画にある、業界の次世代を担う人材育成のための研修会等の企画や参加に注力してもらいたい」との言葉を頂きました。組合各社の責任者を集めた会議等を通して、業務改善、品質の向上を目指します。

(水野K)

各市のイベント開催・開催予定

新型コロナウイルスの感染拡大により、なかなかイベントが開催出来ない状況が続いております。その中でも、今年に入ってから小平市リサイクルきやらばんが屋外イベントであり、市民との接触時間も少ないため、二月十五日、三月二十五日と二回開催されました。また、清瀬市では、毎年開催されている清瀬の環境・川まつりがオンライン開催として、特設サイトが一月に開設されています。今年度の各市のイベントの開催予定ですが、未だ先行きの見えないうち、リモートや併用型、規模縮小型での開催となりそうです。

●各市のイベント開催予定●

- ◎清瀬の環境川まつり 特設ページ開設中
- ◎小平市ごみゼロフリーマーケット
5月28日(土) 9時~13時
@小平市リサイクルセンター東側広場
- ◎東大和市環境市民の集い
6月頃オンライン開催予定
- ◎東久留米市環境フェスティバル
6月頃オンライン開催予定

東資協青年部がリモートで総会を開催

去る三月十七日に東資協青年部(仲條嘉高青年部長)が臨時総会を開催し、令和四年度からの新体制が承認されました。新しい部長には、世田谷支部の土井宏信さんが承認されました。東多摩支部からは、紺野琢生さんが顧問に、私吉浦が副部長(渉外担当)に、水野敬一さんが会計に就任することになりました。前の部長で卒業後も相談役として青年部にご指導頂いていた福田雄二さんは、ここで青年部から完全に籍を外れることになりました。福田さん長い間お疲れ様でした。

四月十五日には、松本理事長始めとする親会理事や日資連青年部大河内部長のご臨席の元、通常総会が開催され、令和三年度の事業報告、決算報告、令和四年度の事業計画、予算案が承認され、新体制の元での青年部活動がスタートしました。今年度は親会も改選期に当たり、青年部からも三名の委員長と四名の部会長がご指名を受けているそうです。私も福利厚生部会長として居残りになりそうです。青年部副部長共々、今年も頑張ってくださいと思います。(吉浦亜)

紺野専務理事が環境カウンセラーに登録しました

四月一日より、当組合専務理事の紺野が環境カウンセラーに登録をしました。

環境カウンセラーとは、「市民活動や事業活動の中での環境保全に関する取組について豊富な実績や経験を有し、環境保全に取り組み市民団体や事業者等に対してきめ細かな助言を行うことのできる人材」を環境省で登録する制度です。論文提出と面接による審査を経て合格した者が登録できます。国家資格ではありませんが、環境省による人材登録制度になります。

組合では、これまでも市や市民団体の要請に基づき、リサイクルや分別に関する講演会を行ったり、業界団体のセミナーでの講師やパネラーの派遣などを行ってまいりましたが、より活動の幅を広げること、また専門分野である古紙を始めとする資源リサイクル以外の環境問題についても、環境カウンセラー間の情報交換などにより知見を拡げてまいりたいという思いで、今回の登録を行いました。今後、リサイクルに関するご相談、講演依頼がありましたら、組合にご一報下さい。なお、環境省ホームページでも検索できます。

公財)古紙再生促進センターが無料のオンラインセミナーを配信

今、人口構造の変化、地方の過疎化、デジタル化、コロナ禍、国際的な資源の枠組みの変化など、古紙リサイクルを取り巻く環境が大きく変化しています。古紙センターでは、今後の社会変化に適応した持続可能なリサイクルのあり方や課題についての中長期的な共通認識作りを目指し、オープンセミナーシリーズをオンラインにて開催しています。古紙センターのホームページより、どなたでも、いつでも参加できます。動画サイト、講演資料は下記のQRコードよりアクセスして下さい。



●代表者交代のお知らせ●

組合員の株式会社久米川紙業は、去る二月二二日に代表者が交代しましたのでお知らせ致します。

新任

代表取締役社長 吉浦 亜矢子

取締役会長 吉浦 高志

なお、組合での理事に変更はございません。

官公需適格組合、SDGsの
方向性、取り組みを推進

ISO9001・14001
の認証を返上しました

東多摩再資源化事業協同組合は、品質管理の強化及び環境問題への取り組みを目的に、二〇一九年にISO9001（品質マネジメントシステム）及びISO14001（環境マネジメントシステム）を取得し、改善を加えながら積極的に運用してまいりました。これにより、品質及び環境マネジメントシステムの運用が当組合内に浸透し、定着したと判断し、二〇二二年度をもちまして、ISO9001、14001の認証を返上することと致しました。

認証は返上致しますが、品質管理及び環境保全に関する活動は継続して参ります。品質管理に關しける取組を強化していくことで継続し、環境保全に關しては、SDGs（持続可能な開発目標）の理念や方向性を取り入れた環境経営を推進し、企業に求められている社会的責任を果たしていく所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

行事・行動

【一月】

- 五日：年始挨拶回り
- 七日：小平RC責任者会議(Web)
- 十一日：東資協理事会(Web)
- 十二日：集団回収委員会(Web)
- 十四日：定例理事会(Web)
- 十五日：日資連理事会(Web)
- 十七日：西東京市廃棄物減量審
- 十九日：共同受注検査(東村山市)
- 二〇日：共同受注検査(東村山市)
- 二四日：小平RC関連JV会議(Web)
- 業務・集団回収委員会(Web)
- 二五日：古紙持去問題意見交換会(Web)
- 二六日：共同受注検査(東村山市)
- 二七日：共同受注検査(東村山市)
- 日資連・資源リサイクル議員懇談会との打ち合わせ

【二月】

- 二日：青年部定例会(Web)
- 四日：東久留米市廃棄物減量審(書面)
- 七日：東村山市公明党市議団との意見交換
- 小平RC責任者会議(Web)
- 八日：東資協理事会(Web)
- 十四日：定例理事会(Web)
- 十五日：小平市リサイクルきやらばん
- 十六日：小平RC関連JV会議(Web)
- 資源回収責任者意見交換会(Web)
- 東村山市廃棄物減量審(書面)
- 十七日：清瀬市廃棄物減量審
- 日資連・環境省意見交換

【三月】

- 一日：容環協紙パックリサイクル意見交換会(Web)
- 五日：第二回TAMAとん討論会(Web)
- 七日：小平RC責任者会議(Web)
- 八日：東資協理事会(Web)
- 九日：古紙持去問題意見交換会(Web)
- 十日：定例理事会(Web)
- 十四日：小平RC関連JV会議(Web)
- 十九日：日資連理事会(Web)
- 二三日：小平市廃棄物減量審
- 二四日：東資協青年部セミナー(Web)
- 二五日：小平市リサイクルきやらばん
- 二八日：業務・集団回収委員会(Web)
- 広報委員会(Web)
- 二九日：東村山市学校機密回収
- 四日：小平RC責任者会議(Web)
- 八日：東資協理事会(Web)
- 十一日：小平RC関連JV会議(Web)
- 財務委員会
- 十五日：共同受注検査(東久留米市)
- 東資協青年部総会(Web)
- 二一日：共同受注検査(東久留米市)
- 二二日：共同受注検査(東久留米市)
- 西東京市名刺交換会
- 東リ協理事会(Web)
- 二三日：日・関資連青年部総会(Web)
- 二五日：東多摩再資源化青年部総会(Web)

【四月】

- 業務・集団回収委員会(Web)
- 二六日：古紙持去問題意見交換会(Web)
- 東資協臨時理事会(Web)
- 二八日：財務委員会

編集後記

直言拝聴をご寄稿頂いた渡辺様
ありがとうございます。食品ロス
の問題は身につまされる思いが
します。食べられる分だけ注文する、
必要以上に買わない、生ごみの水
切りして出すなど、すぐ出来るこ
とを徹底したいと思います。

さて、ロシアによるウクライナ
侵攻、それに伴う世界経済の混乱
は私たちの生活に係るところにま
で暗い影を落としています。環境
問題的にも、戦争に使われる戦車
や戦闘機はCO2を相当量排出し
ますし、爆弾や銃火器ももちろ
んです。また、破壊された都市の再
建には多くの環境負荷がかかって
きます。そして、ロシアにエネ
ルギー資源の多くを頼ってきた世界
各国がエネルギー確保のためにカ
ーボンニュートラルを後回しにせ
ざるを得ない事態にもなっており
パリ協定での各国の合意などとい
うものものはや齟齬どころか死語
になってしまいかもしれません。
今出来ることは、平和を祈りつ
つ、身近で出来るエコをコツコツ
と実践するしかありません。(TKO)